

教科名	芸術	科目	音楽	週授業時間	1.5 時間
-----	----	----	----	-------	--------

担当者名 千葉敬太

1. 教科書および副教材・参考書

中学生の音楽（教育芸術社） 中学生の器楽（教育芸術社）

2. 授業の目標および内容

- ①クラッピングミュージックに取り組み、みんなと協力してアンサンブル楽しさを味わう。
- ②ギターに挑戦し、単旋律を弾く基礎的な奏法を身につける。それとともに、歌うような自然な旋律を表現する力を身につける。
- ③楽典では、創作に必要な基本的な知識を学習する。
- ④合唱は合唱コンクールを通して、新しい仲間と歌う楽しさを味わう。
- ⑤鑑賞は、バロック時代の器楽作品と、古典派の歌曲を中心に鑑賞する。ロイロノートを使用し、意見を発表したり、他者の意見をみて作品に対する考えを深めていく。
- ⑥YAMAHA ボーカロイドアプリを使用し、楽曲を創作する。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 なし	二次 あり	一次 なし	二次 あり	期末 あり
学力試験	第1回 なし		第2回 なし		第3回 なし

内容・難易度について

- ① 定期試験：授業で配布する楽典や、鑑賞のプリントを中心に出題する。
- ② 実技試験：ギターとクラッピングミュージックの実技試験を実施する。
- ③ 作品提出：ボーカロイドで検索した作品を提出する。

5. 評価の視点

- ①定期テスト
- ②実技テスト
- ③鑑賞のプリントの感想
- ④合唱コンクールへ取り組む姿勢
- ⑤授業態度

※ 実技に関しては技術に加え、取り組む姿勢を評価する。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	<p>オリエンテーション</p> <p>【合唱】 「校歌」</p> <p>【器楽】 「クラッピングミュージック」</p> <p>「クラシックギター」</p> <p>【鑑賞】 シューベルト「魔王」</p>	<p>授業の説明ほか。</p> <p>校歌の歴史や歌詞の内容の学習を通して、校歌の意義を学ぶ。 ※コロナ感染予防で、現時点では歌唱を行わない（4/8時点）</p> <p>休符や拍子を感じ、アンサンブルの楽しさを味わう。</p> <p>アポヤンド奏法を身につけ、よろこびのうたに挑戦する。</p> <p>歌詞の内容に沿って、旋律の高さや強弱の変化がどのように工夫して作曲されているか分析する。</p>	
2	<p>【合唱】</p> <p>【器楽】 「ギター」</p> <p>【鑑賞】 スメタナ「ブルタバ」</p> <p>【創作】 ヤマハボーカロイド</p>	<p>合唱コンクールに向けての準備も始める。 ※コロナウイルス感染状況で実施するか判断する。</p> <p>アポヤンド奏法で旋律の演奏に取り組む。</p> <p>オーケストラについて学び、各楽器の音色を通して標題がどのように表現されているか学ぶ。</p> <p>操作について学び、日本語の抑揚に合わせた楽曲を創作する。</p>	

3	<p>【合唱】 合唱コンクール</p> <p>【鑑賞】 八橋検校「六段の調」</p>	<p>3 学期の終わりに合唱コンクールを行い、音楽を通して心を一つにするものの楽しさを味わう。</p> <p>※コロナウイルス感染状況で実施するか判断する。</p> <p>箏の音色に注目し。序破急による楽曲の展開を感受する。</p>	
---	--	--	--